

刊夕日八廿月五

# 常磐每日新聞

定価 一部五銭 二部十銭 郵費別  
 廣告料 五銭 十二字第一行 五銭 五銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 社址 福島県常磐郡平町長崎町三五  
 電話 六三〇  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社  
 社址 同上

## 妄覺より眞覺へ

眞 繼 雲 山

生死の問題を持ち出すと縁起でもないとかつぐ人もあるが、かつぐにせよ、かつがざるにせよ、落ちつくところへ落ちつかねばならぬ人生とは

濱までは海女も笠さるしぐれかな

といふ、その笠着て走る縮圖に外ならぬ、人間の死ぬる前の危篤状態は昏睡状態に陥り眠りつゞけて往生するものもあるし、反對に五日も十日も一睡もできずに苦しみ通して死ぬるものもある。つづれる程グツスリと寝込んであるのは見てゐても氣もちがよいが、眠れないといふことは肉體的にも精神的にも大いなる苦痛である。或る統計學者は自殺の原因の一つとして不眠の苦痛を數へてゐる。

死ぬといふ事實はこれを肉體的に考へるときは永久の眠りに入るといふことである、一晩グツスリ眠ることとは歓迎するが、永久に眠らせられては大變だと青くなる、その死を恐れるといふのは昏睡状態が苦痛と考へるのではなくして、眠る以前の想像として翌朝、いや永久に眼が覺めないのは

困るといふのである。眠りそのものは苦痛でもなく樂しみでもない、苦樂の二邊を越えたものであつてこれを寂滅爲樂と見たのは悟つた上での見解である。

印度人の哲學は眠りの状態を客觀せず、主觀的にそこに何ものかの眞實をつかまうと考へた全く眠るといふのはまことに不可思議な事實である、その哲學によると住妄覺位、住夢睡位、住安睡位、住眞覺位の四段にかぞへる。

第一に妄覺に住するの位とは、覺めてはいるがそれは妄念が働いてゐるので、金を思ひ、美人を思ひ、名譽を思ふといふ風に外界の事物に引きつられてゆく以外に少しも本心本性といふものが現はれてゐない。

第二は夢睡に住するの位とは、睡中の夢は妄念に引きつられてはゐるが外界の縁に動かされてゐるのではないからして、前段の第一よりは上等だと考へたのである。

第三に安睡に住するの位とは、夢を見ずにグツスリ寝込んでゐるかたちである即ち外界にも引きつられず

自我にも囚はれず、客觀を脱し、主觀を脱し、無心無我であつて一時的ではあるが、その靈が本然の姿に還つてゐるといふ臨時的な悟りの境界である。

第四に眞覺に住するの位とは自覺しての後、第三の位を持續し主觀客觀の兩邊をはなれ、有無の二見を超えた解脱の境界でありとするこの永久的な悟境を涅槃といふたのである、坐禪の必要は跏坐瞑目して、この

第四の眞覺の境を如實にとらへやうとするものに外ならぬ。

解脱とは第四の眞覺に住しつゝ、濱まで笠着て暮らす心境であつて、その生活が空相無我に立脚し一切の客觀に囚はれないことである。

生死の透脱とは眞覺によつて生死二邊の『垂れ幕』を除くことである。

### 常 磐 介 藝

#### 初夏の雨

窪田 志朗

軒をうつ……  
 織細い初夏の  
 雨音にまぢつて  
 忘れられてゐた  
 憂鬱がもの柔かく  
 よみがへつてくる。

## 傘日とルソラパ

美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗

〇四一電 ヤルツ 四 平

貴 金 屬

時計及眼鏡類

懐中 電 燈

キミガヨ電氣

ランプ特約店

## 高 橋 時 計 店

平町橋小路

看護婦急派  
 の求めに應  
 じます

平町南町

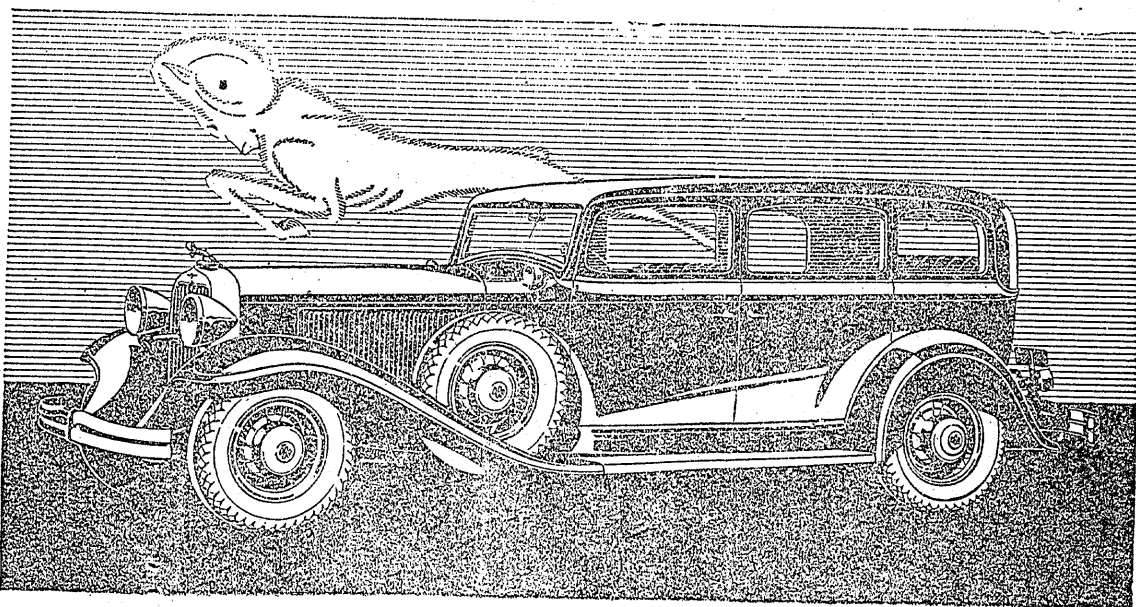
平看護婦會

電話三〇七番

上田 外科醫院

平町 南町  
電話二一九番

# D O D G E



## 新車 御披露

御國の爲の三勇士三九二タクシー客の爲  
 獅子吼の勢で眞先に亦も高級車着荷  
 一九三二年最新型高級車  
 ダツチブラザーズ號ウルトラセダン  
 是非御愛乗願します……。

斯界のナンパーワンは

### 三九二タクシーダツチ

平町一丁目 三九二タクシー

電話 四三 四九 九二 番

# 政府米が

## 商人の手に舞込み 平地方の米價下落

平穀物検査所の米價は本月中旬頃迄四等一俵八圓四五十錢を前後して居たが政府の買換策が今回の政變で急轉を豫想され且つ最近は商人の手に政府米が舞込んだものゝ如く同所管内の在米高はドシ／＼増加を見るに至つたので本月廿四日頃より米價の相場は低落を續け本日同支所で調査したのによると四等米で八圓三十錢五等米八圓と下落した

### 藤田中尉

#### いふ出發

##### 渡満の途に

平在郷軍人分會長藤田榮助氏は本日午前十時四十二分平驛發滿洲への旅路に就いたが驛頭には平青年訓練所生徒を始め有志多數の見送りあり山崎石城在郷軍人分會長の音頭にて同氏の萬歳を三唱行を壯んならしめた因に青年訓練所生總代山口正明君の歡送の辭左記の如くである

(前略)我が平町青年訓練所教官藤田中尉殿には彼の事變の中心地なる滿洲奉天に於て開催さるゝ帝國在郷軍人會全國大會に參列すべく向併せて滿蒙視察並に在滿兵士慰問戰病死者の忠魂を弔は

### 平署に

#### 巡查部長増員

本縣巡查部長並に巡查の異動は本日發表となつたが平署員の異動では巡查部長持館義雄氏が縣保安課に、巡查鈴木富雄氏は富岡署會計に夫々榮轉と決定、兩氏共卅一日赴任の途に付くと尙桑折署渡邊齊氏、梁川署丹野重一氏、郡山署飯沼徳治氏の三部長が新任す

### 寄附が纏らず

#### 排水工事に支障

##### 梅雨期前の着工は至難

#### 役場が嚴重催促

平町では本年度新事業として一丁目、二丁目、三丁目田町裏の下水改修を企圖し新川迄の排水鐵管を工費五千圓で埋設する事となり既に一丁目五百九十八圓、二丁目九百五十六圓、田町九百四十圓寄附申出あり梅雨期前に着工する豫定の處各町の寄附金徵中が進捗せず着工する事が出来ぬ爲め町役場では近く嚴重に寄附の催促を行ふと

### 平女子青年團の

#### 團長は曾我夫人

既報昨日の平女子遺年團春期總會に於ける改選の結果は左記の如くにて其他役員の改選は今秋の總會にて行ふ事になつたと

するものなり一同に代り謹んで歡送の辭とす

兩校教官出張 磐城  
中學校教官八谷少佐、平商業學校教官騎場中尉の兩氏は來月十四日より郡山市に於て開催される縣下中等學校配屬將校會議に出席、終了後安積中學校教練及郡山

### 錦村に豚コレラ

#### 全部撲滅大消毒

既報茨城縣多賀郡大津町方面に豚コレラの被害多數に及んで居るので同地との取引を禁じて居た處去る廿四日石城郡錦村大字大倉赤津芳之助方で飼養せる豚が發病せる際勿來町の獸醫芳賀醫師の診斷にて疑似コレラと判明縣に報告した結果廿七日吉田縣技手出張の上同家飼養豚全部を診斷せるに仔

### 運動ニユース

#### 磐城高等女學校にては既報

の如く昨日午前十時より職員チーム及び二、三、四各學年チーム對抗バレーボール試合をトーナメント式に依り行つたが二年對三年は三年勝、四年對職員は四年勝、結局三年對四年の決勝戦を行へ四年が優勝した

#### 庭球戦に

##### 青年學校優勝

平町舊城跡磐城青年學校主催にて昨日午後一時より同校コートに於て庭球大會を

青年訓練所の視察をなすと  
女教員が參觀 茨城  
縣女教員會々員十三名は來る三十日午前八時二十分着にて來平第一小學校を參觀すると

小名信用總會 石城  
郡小名濱町信用購買組合では明廿八日午後一時より同町小學校に於いて定款變更臨時總會を開催する事になつた

開催したが出場チームは十四組にて頗る盛會を極め戦績は左の如くで青年學校が優勝した  
△準決勝  
磐中 青年  
小島 2-3 須田 藤田  
川木 2-3 須田 藤田  
青年 佐賢  
△決勝  
齊藤 3-1 本内  
橋本 3-1 本内  
青年 本藤  
△武藤 3-1 橋本  
△須田 3-1 橋本  
△世界館組勝つ 白銀  
△町野球チーム對世界館チームの式野球戦は昨廿七日

午後一時より平第一校庭にて二回戦を行つた結果左記の成績にて世界館チームが優勝した  
第一回戦  
世界館五A———白銀町  
第二回戦  
世界館六A———白銀町

磐中庭球遠征 磐城  
中學校及び平商業學校庭球部にては來月五日茨城縣日立製作所日立會に出場すべく猛練習の處都合に依り平南出場せず磐中のみ出場する事になつたが選手は左の如くである  
(川) 隅澤 (小) 川  
(大) 谷

磐中對平俱 磐城中  
學校對平俱樂部の野球試合は明日午後一時より磐中グラウンドに於て舉行されると  
平職業紹介所報告  
△求人部の部  
△農夫 四十才以下 給料  
面談(鹿島村某)  
△小商店員 十八才 高卒  
仕着外五圓(四倉町某)  
△女中兼子守 四十五才迄  
尋卒 月四圓(平窪村某)  
△求職の部  
△配達 二十三才 尋卒  
給料面談(好間村某)  
△出前持 二十四才 尋卒

修繕給料面談(内郷村某)  
△小使 五十四才 尋卒  
給料面談(内郷村某)  
△雜夫 四十四才 高卒  
給料面談(内郷村某)  
△工夫 三十九才 高卒  
給料面談(郡山市某)  
△自動車運轉手 二十才  
中四修 給料面談(山形市某)

大塚の  
學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六・〇〇  
半靴 五・〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雜誌が  
自由に讀める  
川崎巡  
回文庫  
電六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

大塚支製靴部  
電話七七番

# 若い女の腰へ 針を刺す

## 工口性男が 薩摩の守を

石城郡窪田村横山清基(三)は非常な變態性の男で村でも相手にする者もない結果巧に列車の無賃乗車を行つては關東北各鐵道を殆んど薩摩守をさめ同車せる若い女を見ると警部へ針を刺して悲鳴を聞いては喜びまたは車内窃盜等を働いて居た處去る廿六日午後一時頃群馬縣高崎信越線列車内で無賃乗車中を發見高崎署に檢擧された

### 磐崎防疫協議

石城郡磐崎村では春期種痘並に傳染豫防に關する打合せ會を本日午後一時より役場に於いて開き各區長及び衛生係が出席協議を行つた

### 高久立毛審査

石城郡高久村農會主催二毛作立毛品評會の審査會は本日午前十時より同村小學校に於て行はれたので郡農會青山技手審査長として出席した

### 不良飲料物は 用捨なく處分

#### 夏の衛生に萬全を期す

平署一齊に検査

平署では愈々夏の襲來と同時にそろ／＼頭をもたげてくる不良飲料物の防止をなすため近く各店より飲料物を収集し一齊に検査を斷行するが不良物を發見した場合は用捨なく處分し以て夏季衛生の萬全を期する事となつた

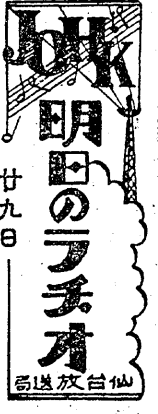
# 流るゝ幼児を 河中に飛込み救助

平町鷹匠町三渡邊久治長男初男(五)は去る廿五日午前十一時頃近所の中根亥之秋二女和子(六)及び和田喜重二女ユキエ(六)と仲間町地内愛谷江筋附近にて遊戯中誤つて河中に墜落十數間押流され危ふく溺死せんとしたのを通り合した仲間町一五の高萩ヨシエが河中に飛び込み救助した

# 自動車が 堀に墜落

## 助手が怪俄

石城郡内郷村字小島の大勝自動車店方運轉手小松長司(三)は昨廿七日午前十一時頃助手荒川清(三)と共に茨城縣多賀郡平瀨町本町菊地



### 明日のラジオ

廿九日

今夜は北西の風、小雨模様明日は北西の風時々晴

### 今晚の部

後六、〇〇 講演「我が村の信用購買販賣利用組合に就て」岩手縣岩手郡太田村購買販賣利用組合長 佐々木休次郎

後七、三〇 子供の夕(獨唱)森和子(少年講話)名馬春風(號)木村正風(ハーモニカ)古澤清久

### 明日の部

前九、一〇 榮養料理「鮭の海苔巻き揚げ」榮養研究所

三六錢 同上電燈料

三白二十三圓六十七錢印刷諸費 三十七圓給料手當 四十二圓協賛會徽章代 一百九十三圓五十錢 博覽會招待券購入代 二

### 明日の部

前九、三〇 子供の時間 童謡歌曲 榎菊映城

前一一、〇〇 宗教講話 「神道とより觀る現代思想」出雲大社教總監千家尊建

前一一、四〇 講演「ベル」の牧場と在留日本人の生活」田中重太郎

前一一、一〇 諸曲講座 「諸の道しるべ」二十 説池内信嘉

後五、五〇 浪花節「堀部安兵衛」東武藏

後一、二五 豊明節 酒井明外

後一、五五 運動競技 第

十九回日本陸上競技選手權大會 第十回オリムピック大會全日本豫選會

後一、五五 三曲 落合三東里

後二、二五 掛合噺「滑稽頼政物語」海老一海老藏

後三、二五 映畫物語 加藤柳美 島田晴三郎

後六、〇〇 子供の時間

後六、三〇 時事解説

後七、三〇 但謡「氣仙沼大漁節」外竹奴外

後八、〇〇 洋樂 コンク

後八、〇〇 洋樂 コンク

後九、三二 奉天より

### 平裁判だより

△双葉郡浪江町大字桶渡字寺前竹行李製造業吉田榮助(五)は昨年十月二十六日南條俊雄と共に謀の上食用に供する目的を以て屠場以外の場所では馬一頭

### 平裁判だより

△既報石城郡植田町大字植田字臺町二十九番地目下住居不定前科十一犯無職大津藤次郎(五)に對する常習賭博事件の公判は昨日午後四時より平區裁判所に於て中島判事係り上田檢事立會の下に公判開

### 平裁判だより

△石城郡小名濱町字中ノ坪三十番地魚商篠山次郎(三)は無免許にて本月五日茨城縣多賀郡磯原町地内に於て貨物自動車運轉し自動車取締令違反として罰金三十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

### 産業博協賛會 收支決算報告

昭和産業博覽會の援助團體たる平町協賛會會長青沼鋒太郎氏以下各役員に依つて事務遂行を完了し此程會計收支決算の報告あつたが收支總額は二千九十五圓卅五圓其の内譯左記の如くである

▽収入の部 一千三百七十二圓四十錢各町區費及有志寄附金 一百七十六圓會社及各組合寄附金 五百圓平町補助金 四十圓五錢雜收入 一圓九十錢貯金利息

▽支出の部 三百圓驛前歡迎塔建設費 六十五圓

### 平裁判だより

△平町田町佐藤喜内君は五月一日田町地内で一圓在中腰提裏口△磐崎村守小野田松浦富美男君は同日田町地内で一圓十錢在中女物財布△六丁目伊藤ヨシ子は同日第三小學校庭にて一圓九十錢在中裏口△大町小川ヨネ子は二日大町地内で一圓七十錢在中財布△六間門の江尻ハルは十日二丁目地内で二圓十三錢入墓口△仲間町村上哲藏君は十三日仲間町地内で二圓七十五錢入墓口△一丁目四三長澤カネは十五日城山地内で二圓四十八錢入墓口を拾得をれ、此程平署に届けた

### ヒロイモノ

△平町田町佐藤喜内君は五月一日田町地内で一圓在中腰提裏口△磐崎村守小野田松浦富美男君は同日田町地内で一圓十錢在中女物財布△六丁目伊藤ヨシ子は同日第三小學校庭にて一圓九十錢在中裏口△大町小川ヨネ子は二日大町地内で一圓七十錢在中財布△六間門の江尻ハルは十日二丁目地内で二圓十三錢入墓口△仲間町村上哲藏君は十三日仲間町地内で二圓七十五錢入墓口△一丁目四三長澤カネは十五日城山地内で二圓四十八錢入墓口を拾得をれ、此程平署に届けた

三體温器 寒暖計 電話〇番



# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

第六十一席 眞庭念流達人櫻井五助  
江戸へ乗込む

櫻井五助は板橋の髪結海老床の主人源太郎より手紙を貰ひ三軒家から庚申塚集鴨から鷄聲ヶ窪を通り本郷に出て今日無事と書いた味噌問屋高崎の招牌を珍らしさうに見上げ、あれから神田の明神坂を下り筋違見付を過ぎ多町から今川橋本石町から本町室町から日本橋と来た、越後の高田に長くゐて初めて江戸の土地を踏んだ事としてその繁昌に驚いた、道を聞き聞き参つたは京橋五郎兵衛町、バツタリと日が暮れた時は十二月の中旬

五「御免を蒙る」と云ひつゝ蕎麥屋に入つた  
○「お出でなれい、お掛けなさいまし」と云はれて五助は腰を下した



○「出来まますものはシツポコに玉子とぢに葱南ばん花巻に天ぷらでございます」  
五「イヤ、蕎麥は食べたくない」  
○「それではぬきでお酒でございませうかえ」  
五「イヤそれでもない、この邊に武藏屋金五郎と申す

五「それは千萬泰な」と云ひながら障子を開いて顔を出したは廿三にならぬいなせな男、土間にある鐵行燈の光で五助を見てゐた  
○「何處からお出でなさいましたか」  
侍と見て言葉も丁寧になつた

五「拙者は板橋の源太郎と申す者より書面を貰うて参つた、武藏屋金五郎殿御在宿ならばこれを渡して下さい」  
出した手紙  
○「へん承知しました、お前さんのお名前は」  
五「それは手紙に認めてある、實は今宵この邊の旅籠に泊り明日訪ねんものと存じたが金五郎どのが俠客と聞き旅装束のまゝお訪ねいたした、この泥草鞋が土産であると思つて申してくれ」  
○「大變なものを土産に持つて来たな、少しお待ちなさい」  
手紙を持つて奥に行く金五郎は炬燵で暖を取りながら按摩に肩をもませてゐた

○「何んだ甚太、今客が来たようだな」  
甚「へん来たよ」  
金「何處から来た、何板橋の源太郎が手紙をつけて寄越したと、それはどんな人間だ」  
甚「田舎出来の侍でございます」  
金「何を云ふ侍ならお武家と云へ田舎出来のガタとは失禮千萬」  
甚「それでも田舎侍でございます、今夜わきへ泊つて明日来るつもりであつたが金五郎どのが俠客と聞いたから旅装束の儘訪ねて来た泥草鞋が土産だと云へつて云ひましてね」  
金「面白い人が来たな、奥の八疊へ通せ、丁寧な扱へ

○「へん承知しました、お前さんのお名前は」  
五「それは手紙に認めてある、實は今宵この邊の旅籠に泊り明日訪ねんものと存じたが金五郎どのが俠客と聞き旅装束のまゝお訪ねいたした、この泥草鞋が土産であると思つて申してくれ」  
○「大變なものを土産に持つて来たな、少しお待ちなさい」  
手紙を持つて奥に行く金五郎は炬燵で暖を取りながら按摩に肩をもませてゐた

○「へん承知しました、お前さんのお名前は」  
五「それは手紙に認めてある、實は今宵この邊の旅籠に泊り明日訪ねんものと存じたが金五郎どのが俠客と聞き旅装束のまゝお訪ねいたした、この泥草鞋が土産であると思つて申してくれ」  
○「大變なものを土産に持つて来たな、少しお待ちなさい」  
手紙を持つて奥に行く金五郎は炬燵で暖を取りながら按摩に肩をもませてゐた

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性腸病

**森病** 十二指腸虫病

門專 院醫科 村松 町南平

電話一七〇

○「何んだ甚太、今客が来たようだな」  
甚「へん来たよ」  
金「何處から来た、何板橋の源太郎が手紙をつけて寄越したと、それはどんな人間だ」  
甚「田舎出来の侍でございます」  
金「何を云ふ侍ならお武家と云へ田舎出来のガタとは失禮千萬」  
甚「それでも田舎侍でございます、今夜わきへ泊つて明日来るつもりであつたが金五郎どのが俠客と聞いたから旅装束の儘訪ねて来た泥草鞋が土産だと云へつて云ひましてね」  
金「面白い人が来たな、奥の八疊へ通せ、丁寧な扱へ

「ロクマクの人」  
心配無用

二期 肺

不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて抄々しくない方靈能偉力を有する「マムシ」を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるマムシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい、  
◎特に、おすゝめ致し度い方説明書差上ります。

心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神經衰弱の人 体力の衰へたる人 食慾なき人 冷性婦人病の人 腎臓病の人

東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所  
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)  
代理販賣所 井内

**外科** X光線科 性病科 外科

安齊外科醫院  
平町田町 電話四七五番

江戸前料理 倉巻  
御家庭... 御膳二人以上 圓五品附  
松 一人前 圓廿錢同  
竹 同 圓五十錢同  
梅 同  
ゼヒ一度御試食下さい  
仕出し 錦水 電四五四番

**吉田眼科病院**

平糺金町、電話六八八番